

風のように

甘木教会



主任牧師：白川道生 牧会委嘱牧師：竹田孝一

以上すべてを証しする方が、言われる。「然り、わたしはすぐに来る。」アーメン、主イエスよ、来てください。主イエスの恵みが、すべての者と共にあるように。

ヨハネ黙示録22：20～21

わたしが彼らの内におり、あなたがわたしの内におられるのは、彼らが完全に一つになるためです。こうして、あなたがわたしをお遣わしになったこと、また、わたしを愛しておられたように、彼らをも愛しておられたことを、世が知るようになります。

ヨハネによる福音書17：23

【説教要旨】

技術の革新は日々、大きく変化し、また、世界の仕組みはトランプ・アメリカ大統領の出現により大きな変化が起き、一方、ウクライナ、ガザというところで、戦争は止まず、ますます泥沼化していく中で、人のエゴが丸出しになり、貧富の差はますます増すという、大きな変化の潮流にあって、先が見えず不安な時代を力なく、もう歩むことに疲れて、歩みを止めてしまいそうな自分がいると、そう、私は感じる日々です。

ヨハネ黙示録の最終章です。迫害されているアジア州の7つの教会に宛てられた言葉がヨハネ黙示録です。パウロがコリント、フィリピの教会に手紙を宛てたのですが、これらの教会は決して素晴らしい教会でなくむしろ課題をもった教会です。ヨハネ黙示録でのアジア州の7つの教会も多くの欠点と課題をもっていました。

3:14 ラオディキアにある教会の天使にこう書き送れ。『アーメンである方、誠実で真実な証人、神に創造された万物の源である方が、次のように言われる。 3:15 「わたしはあなたの行い

を知っている。あなたは、冷たくもなく熱くもない。むしろ、冷たいか熱いか、どちらかであってほしい。 3:16 熱くも冷たくもなく、なまぬるいので、わたしはあなたを口から吐き出そうとしている。と叱責されています。しかし、決してラオディキアの教会を切り捨てることはありませんでした。



3:19 わたしは愛する者を皆、叱ったり、鍛えたりする。だから、熱心に努めよ。悔い改めよ。 3:20 見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってその者と共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。 3:21 勝利を得る者を、わたしは自分の座に共に座らせよう。わたしが勝利を得て、わたしの父と共にその玉座に着いたのと同じように。

「わたしは愛する者を皆」とあるように、神は欠点だけの皆を愛する者としておられるのです。

パウロも、欠点、課題のある教会を「1:1 キリスト・イエスの僕であるパウロとテモテから、フィリピにいて、キリスト・イエスに結ばれているすべての聖なる者たち、ならびに監督たちと奉仕者たちへ。 1:2 わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。フィリピ信徒への手紙」と言われ、「聖なる者たち」という挨拶から始められています。

「教会は、最後まで子羊であるイエス・キリストによって守られています。教会が『神の教会である』と呼ばれるのは、イエス・キリストの十字架によって愛され、その恵みが生きて働く群れだからです。人間の輝きによって左右されることはありません」、①パウロが言う、「フィリピにいて、キリスト・イエスに結ばれている」ということです。

わたしが彼らの内におり、あなたがわたしの内におられるのは、彼らが完全に一つになるためです。こうして、あなたがわたしをお遣わしになったこと、また、わたしを愛しておられたように、彼らをも愛しておられたことを、世が知るようになります。

ヨハネによる福音書 17:23

「わたしが彼らの内におり、あなたがわたしの内におられるのは、彼らが完全に一つになるためです。」というようにヨハネ的に

は、神とイエス・キリストと一つにされているということです。それは、「あなたがわたしをお遣わしになったこと、また、わたしを愛しておられたように、彼らをも愛しておられたことを、世が知るようになります。」ということであり、イエス・キリストの十字架の愛ゆえに、教会は神に愛された群れであるということです。

新教皇・レオ14世は就任のミサで、「地球の資源を搾取し、最貧困層を疎外する経済システムも非難。」、「ウクライナにおける『公正で永続的な平和』を呼びかけ、『子どもたち、家族、高齢者、生存者たちが飢えに苦しむ』パレスチナ自治区ガザ地区のために祈りを捧げ、ミサを締めくくった。」、そして、「カトリック教会に『宗教的プロパガンダ』を広めたり、権力闘争を行ったりする余地はないとし、団結を呼び掛けた。」と報道されています。(ヤフーニュースより) 私たちは、時代の課題の大きさの中で、打ちのめされそうになります。神に愛された教会は、世界はいつも完全ではありません。むしろ欠点だらけのものです。しかし、自分の事しか考えない罪深い私たちは欠点だらけの者であっても、神に愛されています。「たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、**愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。**」とパウロは言います。愛は、私が神に愛され、神に愛されているということにおいて、隣人を勇気づける愛の業を行えるのです。だから、自分のことばかり考えるのではなく、つまり、『宗教的プロパガンダ』を広める。信徒を増やすという事でなく、神と一つとなって、隣人とひとつになって、互いに愛し合う事です。

ルターは、「信仰によってキリストがわたしたちのものになり、愛によってわたしたちはキリストのものとなる。キリストは愛し、わたしは信じ、これによってわたしたちはキリストと一つの菓子である」と言います。

神の愛がいまここにあることを信じるとき、私たちは新たな力を与えられます。「信仰によって自由の高みに上ったキリスト者は僕として愛の奉仕に勤しむ。自由の高さから愛の低さに下る落差こそ信仰の力です。」②

神に愛され、神の愛を知り、神と一つとなって、隣人と互いに愛し合いキリストと一つの菓子となって隣人に提供していきたいのです。

私たちは、「キリストと一つの菓子」です。「わたしが彼らの内におり、あなたがわたしの内におられるのは、彼らが完全に一つになるためです。こうして、あなたがわたしをお遣わしになったこと、また、わたしを愛しておられたように、彼らをも愛しておられたことを、世が知るようになります。」、キリストと一つなり新たな信仰の力を与えられ、決して希望を失わず、互いに愛の奉仕のわざに努める一人一人として今を生かされています。だから希望をもって、祈りましょう。「アーメン、主イエスよ、来てください。」と。

①「教会で読む ヨハネ黙示録」 内海望 リトン、②「ルターの思索」 金子晴勇 ヨベル

牧師室の小窓からのぞいてみると



新教皇・レオ14世の就任のミサが行われ、「レオ14世は、ウクライナにおける『公正で永続的な平和』を呼びかけ、『子どもたち、家族、高齢者、生存者たちが飢えに苦しむ』パレスチナ自治区ガザ地区のために祈りを捧げ、ミサを締めくくった。(Yahoo ニュースより)」と報道されている。

ロシアのウクライナの攻撃の激しさ、イスラエルのガザ地区の人道を無視した攻撃はますます激しさを増す中で、新教皇の呼びかけが届き、平和を作り出す人は幸いである。神の子と呼ばれるだろうと聖書にあるように皆が神の子となりますように。



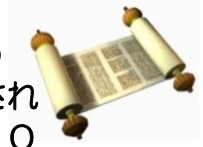
園長・瞑想？迷走記

小学生から高校生までの「子ども睡眠検診プロジェクト」ということで睡眠時間の調査が行われ、子どもの睡眠不足が心身の健康を蝕んでいるという報告を読んだ。そこで、幼児とて、諸外国と比べると睡眠時間が、同じ状況にあると報告されている。かねてより、社会の大きな生活の変換が原因だと言われている。よっぽど保護者自身が意識して、子どもに十分に睡眠を取れるように生活を変えないと子どもではできないことである。

これから、幼稚園、保育園もこの社会の変化を受けとめ、どうすれば子どもが睡眠を確保できるかに取り組んでいかななくてはならぬところまできている。

日毎の糧

主を愛する者たちよ。悪を憎め。主は聖徒たちのいのちを守り、悪者どもの手から、彼らを救い出される。
詩篇97：10



ルターの言葉から

ああ愛する父よ、あなたは私の愛する父であります。なぜなら、あなたはまさしくあなたの愛したもうひとり子を、私のために与えてくださったのですから。だから、あなたは私に対して怒りはなさいませんし、私を突き放してしまうことをなさいません。あなたは、私の苦難と弱さを見ておられます。ですから、あなたは私を助け、私を救おうとなさるに違いありません。アーメン。

『ルターの祈り』 石居正己編訳 聖文舎

聖徒一救われる者

永く生きてくるとなんと自分は罪の積み重ねだったのか思う。死の直前、告解をする。死の直前まで罪の中にいる。神の怒りを受ける者、神から突き放される者であるからだ。

そんな私だが、「主を愛する者」である。なぜなら、こんな罪深い者だからこそ、主を愛するしか生きることができないから。つまり、主の愛にすぎるしかない罪深い存在であるからである。

こういう私を神は見ておられる。詩人は、「主は聖徒たちのいのちを守り、悪者どもの手から、彼らを救い出される」と言う。「あなた（神）は、私の苦難と弱さを見ておられます。ですから、あなたは私を助け、私を救おうとなさるに違いありません」とルターは言う。主を愛するしか生きることが出来ない罪人は、同時にイエス・キリストによって、主（神）に守られ、救われる聖徒とされる。だから同時に強く悪を憎み、隣人と共に互いに愛する者とされるのである。

祈り：主よ、私をあなたしか愛することが出来ない者としてください。

甘木通信

「年を取るレッスン」



年をとるということは老いることです。テーブルに置いてある父の写真を見ながら、「あなたはこの歳はどうしましたかね」と話しかけます。

農村伝道神学校出身という結城いずみさんの「年を取るレッスン」という本を買いました。本の帯に「衰え、痛み、物忘れ。老いの定番は免れなくても、神とともにいませば、今日一日も、喜んで過ごせる」とあります。「喜んで」は難しいが、「今日一にも過ごせる」という実感があります。72歳になり、「神とともに」という生き方を選べた、与えられたということは何と恵みかということを強く実感しています。

「考えてみますと、70代は60代まであった体力が少しずつ潮が引くように失われていき、病気や死に関わる世代へと移行していく時期であるように思われます」ということは、自分もそうですし、家内は60代後半に入院し、白内障の手術、手根管症候群(しゅこんかんしょうこうぐん)の症状では親指から薬指にかけてのしびれ・痛みがでて手術するなどが続いています。私もここに来て、老いを感じ、医者通いが続いています。だから今、出来ることをしようと若い時の思いと違うものが強く出てきました。これは、終わりが近いからという恵みではないでしょうか。一行でもラテン語のルターの「創世記」を訳してみようと思っています。まだ、まだレッスンは続いています。

(甘木日記)土) 雨の激しい中を日善幼稚園への理解と協力を願うために新しいグループに入った二日市教会へ挨拶とお礼に行く。日) 夏、庭の草取りと剪定。礼拝後も草取りで終わる。月) 通常の日善幼稚園の業務。夜、羽村幼稚園の管理者会議で東京に。火) 午前中は家の用事。午後から会議。運営も順調にスタート。夜、福岡に。水) 日善幼稚園で一日業務。保護者会総会に出席。木) 松崎保育園で聖書の学び、子ども礼拝、たんぽぽの花の絵をくれた園児にお礼の手紙。午後から、甘木教会へ。掃除、花壇の手入れ。夜、幼稚園報告を久留米役員会へ。金) 九大病院へ。

おまけ・牧師のぐち（続日記）牧師だって神さまの前でぐちります。ぐちらない聖人（牧師）もいます。



土）朝の雨の激しい中を新しく兼任体制を組んだ二日市教会へ日善幼稚園への理解と協力を願うために挨拶とお礼と協力を願いに礼拝に出席。説教を語る立場から聞く立場になりホットさせられる。乗り換えの途中駅の鳥栖駅で妻と一緒に昼食。立ち食いかしわうどんを食べる。これが旨い。今週は忙しく、気を遣い、気力も衰え、昼へ行く。幸い雨が止んでいた。甘木で一起きていつのように掃除し、草取りを移植。信徒さんを待つ。礼拝も無事にもしばらく草取りをして帰宅。月）幼



寝。夜に甘木泊。日）朝、し、赤紫蘇を終わり、午後稚園に出て、

礼拝。説教を聞く立場になり多くの恵みをいただく。幼稚園の先生が成金饅頭を知らないというので購入の電話してもらう。家内手作りの餡パンをもって、20時の飛行機で東京に行く。飛行機も遅れて、0時に近くに友人宅。いつも泊めて頂き感謝。餡パンを火）朝からに家内に頼まれていた東京でしか出来ない用事をする。次男の息子の所に手製のお菓子、餡パンを届けに大森、ここから水道橋に行き、信用組合の通帳の記帳、次はお茶の水に行き固定資産全を郵便局で払う。ここが不思議、なぜ東京の郵便局でなくては支払いが出来ないか。H幼稚園の先生方が喜んでくれた御座候の回転饅頭を購入に新宿高島屋に寄る。午後から饅頭をもって、羽村幼稚園の管理者会議。新制度に移り、現状、今後の課題と取り組み。園経営は休まることがない。慌てて20時の飛行機で福岡に。水）体も重いが、幼稚園に来て、気になる花壇の手入れ、自然生えした大葉で、花壇の一部を緑にしようと移植したり、上に伸びた沈丁花の枝を剪定したりして動いていると体の重さも忘れる。脚立に立ち、震えがある。老いたと言。しかし、体を動かすことが良い。保護者総会が一年ぶりに開かれる。これからは保護者と共に子どもの成長を願っていきたい。職員会議。祈りは牧師がしてくださり、祈りも交代になりホットしている。木）朝、妻と一緒に、松崎保育園へ。職員の聖書の学び、子ども礼拝をする。たんぽぽの花の絵をくれた園児にお礼の手紙を届ける。力作。午後から、甘木教会へ。日田街道にある和菓子屋に寄る。掃除、花壇の手入れ。赤紫蘇で休園中の園庭を飾りたい。一步、踏み出す。夕刻、久しぶりに夫婦で買い物。夜、幼稚園報告を久留米役員会へ提出するために作成。気づくと1時。金）九大病院へ行く。生体検査も避けられ、経過観察で入院しなくなっただけでも嬉しい。先生方の努力に感謝。検査疲れ。